

## 報 告

みなずきかい  
金沢医科大学水月会の紹介

水月会代表・血液免疫内科学教授 廣瀬 優子

「水月会」は年々増加している本学の女性医師の会員相互の親睦をはかり、意見交換を行う会として平成6年6月に発足しました。水月会という名称は毎年4月に国試の発表があり5月に医局員、大学院生として入局して来られますので、新たに入って来られた方々を迎えて6月に年次総会を行うことから命名しました。

発会当初は55名で始めました。眼科学中泉裕子先生、北川和子先生、神経精神医学榎戸英佐子先生、血液免疫内科学の廣瀬優子が世話人として会を作り、毎年新入医局員、大学院生に入会をお願いし、平成15年6月現在、104名の会員数となり、本学の全医師の約25%を占めるようになりました。会の活動はあまり活発には行っていませんが、毎年6月の新入会員を迎えるの会合が一番主な行事です。

今年（平成15年）は7月3日に第10回の水月会を開催することになり、毎年各教室持ち回りで幹事をお願いしており、今年は神経精神医学教室の先生方にお世話をお願いしました。

近年、「男女共同参画社会を」といわれる一方で女性専門外来を開設する医療施設が全国的に広がるなど女性の特性を考慮した考え方も医療分野では見られます。本学でも女性専門外来が総合診療科に開設されましたが水月会としても協力を惜しまないつもりです。

女性医師が本学医師の25%を占めるようになり、特に若い医師の世代では比率がもっと高くなって、臨床の教室では女性医師のいない医局はなくなっています。しかし福利厚生面での待遇は不十分で、更衣室や当直室が確保されておらず、皆大変不自由をしています。病院新棟完成の折には是非これらの面を改善して働きやすい職場にしていきたいと希望しています。

毎年15名ほどの新入会員がありますが、本学を去られる方も同じ数ほどおられ、是非出来るだけ長く大学に残って後進の指導に当たっていただきたいと願っています。



平成15年度の新入会員の出席者



平成15年7月3日開催の第10回水月会集会出席者一同